

質問順に掲載しています。
また、内容は紙面の都合で要約しています。

SA利活用拠点整備について



小林吉久議員

問 国、県、ネクスコ、本市の4者での勉強会はどのような内容が市民に示すべきでは。

答 計画実施に向け策定委員会のものと、広く市民の声を反映できる施設の運営方法、収支の見込みなど具体的に検討している。

問 多くの市民から懸念の声がある。4者会の論議が市民に伝わっていないが何う。

答 鹿島区に限定する話でなく地域の皆さんの合意に基づいて事業の展開を図りたい。

問 建設計画では事業費は26億円であったが17億円に縮小された経過について何う。

答 総事業費のパイについては経過がある訳ですが、第一次計画案は議会でも明らかにしてある。

問 26年までの全線開通に向

け構築物など市独自の施設について明らかにできる宗の答弁が有ったが10数億円に及ぶ巨費を投じて施設を整備した自治体は全国ではどのくらいあるか何う。

答 自治体では9ヶ所、民間では12ヶ所。本市の目論見は17億だが投資額のデータについては今はない。

警鐘。「木を見て森を見ず」に



鹿島SA付近

実態に即した補助・助成を!!



今村 裕議員

問 市では、国・県補助を入れると229の補助・助成制度があり、支出先も個人から団体へと多岐に亘っているが、周知・徹底が図られていない現実がある。今後のPR方法について何う。

答 一律的な周知だけでなく、それぞれの制度内容によって周知方法を研究実施していく。

問 例えば、要介護・要支援の認定も法に基づいて判定しているとは言え、各家庭や家族の実態が加味されず、結果的定義で図られたような返答に終始し、失望感や不安だけが増幅したという声を聞く。また、障がい者に対する助成も、果たして今の内容で十分なのか、利用者や障がいを持つ保護者の声をどう吸収



おひさまといっしょに

しているのか疑問に思うこと

答 今後の対応策を何う。今後も市民ニーズの把握に努め、丁寧な対応を心掛けていく。また、あるべき補助・助成制度の考え方を明確にした上で、その妥当性や有効性の観点からチェックをし、必要に応じて、国・県への要望や補助・助成制度の見直し、整理統合等、市民の意見を十分にくみ入れて対応していく。

ならないように。

どうなった？ 合併の約束



郡 俊彦議員

問 新市建設計画について市長は「合併の約束だから」と大型事業を強行したが、今も認識に変わりがないか。

答 建設計画は実施に当たって必要性など検討して判断する。

問 4大事業を進める場合に、アンケートを取って市民世論を踏まえて判断すべきとの求めに「合併の約束だからやらないわけにいかない」と



取りやめたタラソテラピー敷地

くり返し、「合併後見直しすることになってははず」との指摘に「そんなことない、約束だからやるんだ」と強調したことおぼろげに忘れたんですか。

答 当時はそういう風に申し上げてきまして、塾度の低い、合意形成のない事業計画もあったと、今考えている。

問 新たな事業もあるだろう、市民サービス向上も必要だろうと見直しを求めてきたが、いいところやった後で、合併の約束が軽いものになっ

ている。例えば鹿島区の110億円内の計画である老人福祉施設建設が「廃止」となってるが鹿島区役所長、区内でどう検討されたか。

答 (区役所長から答弁なく市長から) 老人福祉施設は南相馬福祉会でやることになっている。(福祉会は施設建設に市の補助があつて運営している団体)

質問順に掲載しています。
また、内容は紙面の都合で要約しています。

問 不況で地元企業は経営が大変である。民間資金が動かず、設備投資もない中で、公共事業が唯

生活・安全の公共事業を前倒し



志賀稔宗 議員

答 実施計画に位置づけられて公共事業の前倒しは、緊急性や財政的裏付けが不可欠である。限られた予算枠での発注の平準化や地元事業者へ受注機会の拡大を図り、上期発注目標を80%に掲げ地域経済の活力促進に努力する。3月時点で生活関連事業の前倒し発注をしたが、今後も財源を見ながら必要に応じ前倒して



パークゴルフで健康増進

問 パークゴルフ愛好者から、大磯シーサイドパーク及び小高区に新設を要望する声が大いが見解は。
答 現在、牛島と菟浜に設置されており、新設計画はないが、今後の利用状況を見て検討する。
問 小高区文化公園に替わる施設と位置づけ、是非要望に応えるべきではないか。
答 高齢者の健康増進、世代間交流でも非常に有効と考える。要望に応えるべく努力する。

女性の健康づくりについて



土田美恵子 議員

問 女性のガン検診対策に
ついで
子宮頸ガンを取り上げ
ました背景として、子宮ガ

答 予防ワクチン接種に向けて国県等への要望に務めていく考えである。
問 乳ガン検診対策について女性が一番多く罹るガンが乳ガンです。40代から50代の乳ガンが激増しており、この実

態をどのように受け止め対策をしていくか伺う。
答 啓蒙啓発に力を入れまして受診率のアップに努力をしていきたい。
問 自主財源の確保について
答 自主財源の確保と経費節減については、平成18年9月定例会で質問を致しました。その後の状況と今後の展望について伺う。
答 庁内関係課連絡会議においてモデル事業の状況など検証し、様々な事例研究を行いながら導入を進めていく。



集団検診

議員提出議案・意見書

議案番号	件名	議決状況
5	国直轄事業負担金に係る意見書	原案可決
6	「協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書	原案可決
7	核兵器廃絶平和都市宣言に関する決議	原案可決
8	北朝鮮の核実験強行に対する抗議決議	原案可決
9	政府に計画どおりの備蓄米買い上げを求める意見書	原案可決